

# モエンパネル 施工のポイント

## ■ 木胴縁の取り付け

### (1) 木胴縁の方向

- 鉄骨造の場合、C形鋼と木胴縁を直交させます。

### (2) 木胴縁の標準寸法と間隔

- 木造の場合、木胴縁の厚さは、18mm以上とします。縦胴縁または、耐力面材がある場合の横胴縁では、必要な引き抜き耐力が確保できる材質（ベイツガなど）の場合は15mm以上とすることができます。
- 鉄骨造の場合、木胴縁の厚さは33mm以上とします。
- 木胴縁の幅は、一般部45mm以上、モエンパネル上下接合部・左右接合部・開口部周囲・出入隅部90mm以上とします。
- 木胴縁の間隔は、500mm以下とします。

### (3) 木胴縁の留め付け方法

- 木造の場合、N65、CN65以上の釘またはφ3.8mm×50mm以上の木ビスを使用して500mm以下の間隔で柱・間柱に留め付けてください。
- 鉄骨造の場合、φ5mm×60mm以上のリーマ付きドリルビスを606mm以下の間隔でC形鋼に留め付けてください。
- 開口部周囲の木胴縁は、30mm以上の隙間を設け、通気を確保してください。

## ■ モエンパネルの施工

### (1) 割り付け

- 割り付けは、芯振り分けとし、開口部左右に小幅物ができないようにしてください。

### (2) 釘留め

- モエン用釘を用い、モエンパネル端部（合じやくり部を除いた厚い部分）より20～35mm離して留め付けます。

### (3) モエンの切り欠き加工

- モエンの切り欠きは原則として板幅（910mm・1000mm）の1/2以下としてください。  
 コの字形状の場合は残り板幅が1/2未満の時やモエンパネルの板幅が100mm以下になる場合は、切断し、切断面の小口に2×2mm幅の面取り加工を施し、突き付けて留め付けてください。なお、面取り加工部はモエンシーラーを塗布してください。

## ■ 専用同質出隅の施工

- モエン用釘の長さ方向の釘打ち間隔は500mm以下、端部より20～35mm離して留め付けます。

### 1階と2階、2階と3階の取り合い部【化粧目地仕様（基本仕様）】の場合

#### 木胴縁下地組み【横胴縁仕様】とモエンパネルの留め付けについて

## ■ 木胴縁の取り付け

- 木胴縁は、2m以下の間隔に隙間（30mm以上）を設け、通気を確保します。

## ■ モエンパネルの施工

- モエン用釘を用い、パネル幅に対して5本、胴縁毎に留め付けてください。

